

2024年度  
事業計画書

自：2024年 4月 1日

至：2025年 3月31日



公益社団法人企業情報化協会

# 1. 2024年度活動基本方針

---

## － 『 経営とITの融合 デジタル・ディスラプション時代の持続可能なビジネス変革』 －

昨年は新型コロナウイルス感染症が5月に2類感染症から5類へ移行し、ようやくパンデミックが終焉しましたが、ロシアによるウクライナ侵攻に加え、中東のハマスとイスラエルとの軍事衝突により、世界の政治・経済情勢は再び混迷を深めました。

これまではグローバル化を前提とし、経済や人の移動のボーダレス化が進んできましたが、今後は局所的には国家間の緊迫した関係性も意識していかざるを得ない状況となります。

このように世界情勢についても依然先行き不透明な状況ではありますが、一方で、DXを含めた技術革新やデジタルシフトが加速度的に推進されております。

特に2023年はChatGPTをはじめとする生成AIが革新的に発展した年でもあり、このような新しい技術をビジネスの現場や経営で積極的に活用し、業務の効率化と高度化が推進されております。

生成AIのビジネス活用は多岐にわたり、効率向上や新たな価値の創造に寄与しておりますが、倫理的な課題やプライバシーへの懸念も浮上しており、これらに対する適切な取り組みも同時に進められています。

小会ではこれまで以上に、変化に対応し、時には変化に先んじて自らを変革していくことにより、会員企業に新たな体験と新たな感動をお届けするため、引き続き、「経営とITの融合を目指して」を活動ドメインに、会員を始めとするお客様へのお役立ち機関として更なるサービス強化を図って参ります。

社会のデジタル化の流れが急加速する今、小会が提供する様々な活動とその内容は、まさに真価を問われる時となりました。また協会活動そのものの形態や情報提供方法、交流手段も時代に即した有り方に変革が求められています。

こうした現状やトレンドを踏まえ、まさにデジタル時代のビジネス変革に対応した、新たなる研究および交流を深める事が、わが国経済の更なる活性化につながるものと確信しております。

本年度も小会の活動にご注目をいただくと同時に、会員の皆様の積極的なご参画をお願い申しあげる次第です。

本年度も、日本経済が直面しているテーマを軸として情報化推進のための調査研究を積極的に実施いたします。2024年度は先に示した基本方針に基づき、次の重点項目について展開を行います。

## 1.1 デジタル・IT活用高度化とDX推進

企業や組織が競争力を維持・向上させるためには、デジタル技術の進化に対応し、業務プロセスを効率化・最適化する必要性があります。

クラウドコンピューティング、ビッグデータ分析、人工知能などの先端技術を活用し、柔軟性や迅速な意思決定を可能とすることにより、顧客体験向上や新たなビジネスモデルの構築、デジタルトランスフォーメーション(DX)を促進し、市場変化への適応力を高めます。

DXのより積極的な推進は継続的な変化への適応が鍵となり、競争社会に打ち勝つ戦略の立案と実現が求められており、生成AIの急速な普及、5Gの進展、Web3.0やメタバース等、ITを取り巻く技術やトレンドも日進月歩で進化・普及する昨今、更に今後もこのような流れは一層強くなることが予想されます。それらの情報を広く産業界・企業に発信してまいります。

## 1.2 時代に即応した研究会・シンポジウム活動の強化

小会では時代に即し、かつ会員企業からの要請のある様々なテーマや階層別の研究会を13本開催しておりましたが、時代的に先取りの情報収集が必要なテーマを厳選し、研究会活動の再編と深堀を行い内容の一層の充実、強化を行います。

また最新の技術や経営手法を紹介する各種シンポジウム(サイバーセキュリティ・AI・ロボティクス・ビッグデータ)を8月に集中させて開催することにより、効果的な集客を図るとともにデジタルビジネス推進のための強化週間(IT協会Digital Days)と位置づけ開催をいたします。

## 1.3 会員相互の交流の活性化

産業界を取り巻く経営環境の変化や、小会に対する期待を確実に把握し、事業活動へ反映するため、会員交流会を起点とした活動を推進します。

会員相互の交流を活性化させるため、コミュニティの魅力を高める様々なコンテンツやイベントを通じてメンバーの関与を促進します。

また会員からのフィードバックを通じ、その要望に応え、コミュニティの改善を進め、最終的には、信頼感や共感を築くために透明性の高いオープンなコミュニケーションを促進し、会員同士が積極的に情報共有や交流を行えるようサポートします。

## 2. 個別事業活動内容

---

### 2.1 会員活動

2023年度末現在、正会員180社となっております(2022年度末 170社)。またカスタマーサポート部門を対象とした準会員については、2023年度末現在の会員は39社となりました(2022年度末39社)。

2024年度は、会員のためのサービスの充実化をはかることにより、更なる会員企業の拡充に努めてまいります。また過去に小会のアワードを受賞した企業にも積極的な入会の要請を行い、2024年度は合計230社を目標に取り組んでまいります。

### 2.2 事業活動

(委員長は一部依頼中を含みます。文中敬称略)

#### 2.2.1 表彰ならびに顕彰活動

##### (1) 2024年度第42回「IT賞」

IT賞は高度情報化を実現し経営革新に顕著な成果を収めた機関・企業を表彰し、我が国の情報化促進に寄与した証として顕彰しています。

2024年度の「IT賞」は「マネジメント領域」「顧客・事業機能領域」「社会課題解決領域」「トランスフォーメーション領域」「オープンイノベーション領域」「サステナビリティ領域」の6種のカテゴリーに適合する企業の発掘と積極的なプロモーションを行い、多くの会社に応募頂けるよう努めてまいります。更に情報化の推進に顕著な功績が認められる個人に対しての表彰である、「Super SE 100人衆」も強化して参ります。

(審査委員長:萩野 達也 慶応義塾大学 環境情報学部 教授)

##### (2) 2024年度第25期カスタマーサポート表彰制度

既に国民生活の社会インフラとなっているコンタクトセンターにおいて顕著な成果を収めた機関・企業を表彰し、特に顧客に対するサポート・サービスに関して、創意工夫や先進的な試みを行い、他の模範となるべく成果をあげられた企業に対して“Best Customer Support of The Year”として表彰を行います。

また、当年度もカスタマーサポート推進に顕著な功績が認められる個人に対しての表彰である、「カスタマーサポートプロフェッショナル100人衆」も強化して参ります。

(審査委員長:西尾 久美子 近畿大学 経営学部 教授)

## 2.2.2 大会(カンファレンス)事業活動

### (1) 第40回IT戦略総合大会(ITMC2025)(2025年1月30日・31日)

IT協会の年次大会として「経営とITの融合を目指して」を統一テーマに掲げ、企業情報化の更なる推進に向けてCIOを含む経営者や幅広いマネジメント層を対象に、経営者による基調講演やIT賞受賞記念講演、更にはソリューションコースを併設して開催いたします。

(企画委員長:山内 雅喜 小会会長 ヤマトホールディングス株式会社 参与)

## 2.3 海外調査研究活動

### (1) 第34次トップエグゼクティブミッション

#### ーCIO(情報統括役員)のための海外研究調査団(2024年10月20日～10月26日)

海外におけるIT活用の最新のトレンドを中心にIoT・AI・サイバーセキュリティやサステナビリティなどの新潮流およびその利活用を通じて今後の情報戦略の一助となることを目的に開催いたします。(UAE、サウジアラビア)

(団長:山内 雅喜 小会会長 ヤマトホールディングス株式会社 参与)

## 2.4 研究会および関連事業活動

### (1) 第19期グループCIO交流会議(2024年5月)

グループ経営のIT戦略強化に向けて、デジタル時代に対応したビジネス変革に伴うシステム開発の高速化やこれに対応するDX人材の育成、サステナビリティとIT部門の役割などをテーマに、グループCIOが取り組むべき必須の課題について研究を進めます。

(企画委員長:中島 洋 一般社団法人沖縄トランスフォーメーション 理事長)

### (2) 第18期ITサービスマネジメント研究会(2024年4月)

ITサービス全体最適化とデジタルトランスフォーメーションを支えるIT運用の実現に向けてITサービスマネジメントのあり方の研究を通じて、IT利用者と提供者の双方に有益なサービスマネジメントとITリテラシーの向上策を検討いたします。

(企画委員長:桑名 正人 NTTコムウェア株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員)

### (3) 第17期IT人材活性化コンソーシアム

#### 3-1. 第17期IT人材活性化研究会(2024年7月)

本研究会では、IT部門・IT企業における元気のある職場づくりを目指し、社員個々ならびに組織の活性化と情報リテラシー向上を図るための各種施策や多様化に対応した人事戦略など、実践的な取り組みをベースに研究を行ってまいります。

(企画委員長:嶋谷あゆみ 東京ガス株式会社 常務執行役員)

### 3-2. 第3期IT女性ネクストリーダー育成研究会(2024年9月)

次世代IT女性社員のキャリアに対する意識改革と女性活躍推進の進め方に関して、活躍事例やロールモデルの話に加え、対面形式で実施することで同様の悩みや課題を持つ参加者の情報交流、情報共有を図ってまいります。

#### (4) 第16期ITコア人材ネットワーク交流会(2024年6月)

本交流会は将来IT分野で活躍が期待されている中核人材(30歳~40歳)の異業種交流の場として位置づけ、知見や視野の拡大、将来につながる人脈形成と情報リテラシー向上を目的に開催致します。

(ファシリテーター:牧野 司 慶應義塾大学 理工学研究科 訪問教授)

#### (5) 第13期ビジネスイノベーションコンソーシアム

### 5-1. 第13期ビジネスイノベーション研究会(2024年11月)

従来からの構造化データにとどまらず、ソーシャルメディアに集まる非構造化データなど膨大なデータの中から、企業は経営判断のための新たな知見や予測を見出す必要に迫られています。この“ビッグデータ”の戦略的活用と有効性について、活用・技術・人の観点から考察し、先進事例を通して研究を行います。

(企画委員長:香田 隆之 味の素株式会社 執行役専務)

#### (6) 第10期情報セキュリティコンソーシアム

### 6-1. 第10期サイバーセキュリティ戦略マネジメント研究会(2024年10月)

昨今のサイバーアタックに関連し、不正送金や不正ログインに暗躍するBotによる攻撃、高額な身代金を要求するDDoS・ランサム攻撃等が頻出しております。今後のサイバーセキュリティ対策の在り方ならびに強化策、更には人材育成まで含めた情報セキュリティに関する研究会を開催いたします。

(企画委員長:堀 晃雄 野村ホールディングス株式会社 執行役員)

### 6-2. 第11回情報セキュリティシンポジウム(2024年8月)

IT先進国でも既に国家規模で深刻な危機に直面している情報漏洩やサイバーセキュリティに関する課題に対し、今後のサイバーセキュリティの強化策について、セキュリティ専門企業やスペシャリストによる最新の方法論を紹介するシンポジウムを開催いたします。(IT協会Digital Days内開催)

#### (7) 第9期デジタルビジネス推進コンソーシアム

### 7-1. 第9期デジタルビジネス推進研究会(2024年6月)

本研究会は、デジタル技術の進展とそれに伴うビジネス革新を実現するための方法について、内外の先端の事例研究と参加者相互による議論を深めながら研究を行い、その成果について提言を行ってまいります。

(企画委員長:太田 朝道 JR東日本テクノロジー株式会社 代表取締役社長)

### 7-2. 第8回デジタルビジネス革新シンポジウム(2024年8月)

デジタルビジネス時代に求められるIT新潮流の利活用の追及を目的に「支える」「つなぐ」「予測する」などの

視点とビッグデータやAIを含めた多種の方面から今後のビジネス変革の可能性について情報提供を行うことを目的に開催いたします。(IT協会Digital Days内開催)

### 7-3. 第3次デジタルビジネス研究調査団(2025年2月)

成長著しい東南アジアにおいて推進されているデジタル化について、市民生活への浸透度や企業活動における戦略的活用方法について調査し、日本国内のデジタル化と比較検討を行うことを目的に開催いたします。(訪問予定国:シンガポール・ベトナム)

### (8) 第9期次世代経営幹部養成コース(2024年7月)

本コースは、多くの経験やノウハウを有する実務家(経営者、IT担当役員)の方々と実際に交流を行い、より高度な議論を展開させることによって、企業にイノベーションを起こすことのできる次世代幹部としての素養を体得いただきます。

### (9) 第4期BPM推進プロジェクト

#### 9-1. ビジネスプロセス改革入門セミナー(2024年7月・3月)

本基礎コースは、業務プロセスの見直しや、事務オペレーションの自動化などの改革手法やノウハウについて学習いただきます。今後の自社業務の標準化や働き方革新のためのスキルを体得いただくと同時に、これを推進する要員・責任者の育成を目的に開催いたします。

#### 9-2. 第19回デジタル業務改革/BPMフォーラム(2024年12月)

本フォーラムでは、業務プロセス改革を成し遂げ、成果を上げた事例を紹介するとともに、事務オペレーションの自動化ツールやRPA導入のための手法、AIとの有機的連携等を紹介し、今後の働き方革新や企業価値向上の一助となることを目的に開催いたします。

### (10) 第4期ニューノーマル時代の最新技術活用コンソーシアム

#### 10-1. 第4期デジタル技術実践研究会(2024年9月)

本研究会ではデジタル技術のビジネス活用とその可能性について、特に生成AIを中心とした国際的活用ルールの動向や、生成AIがもたらすビジネス変革事例を中心に研究を進めてまいります。

(企画委員長:矢部 剛 ニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役会長)

#### 10-2. 第2期ニューノーマル時代の最新技術活用シンポジウム(2024年8月)

本シンポジウムでは、ニューノーマル時代に対応したオフィスシステムの有り方や働き方革新を実現する上で必携となる各種デバイス、更にはAIやロボティクスの活用といった近未来を先取りするテクノロジーについて情報提供を行います。(IT協会Digital Days内開催)

### (11) カスタマーサポート部門領域活動

#### 11-1. 第24期カスタマーサポート革新研究会(2024年5月)

カスタマーサポート領域のマネジメント上の課題、人材確保と育成、アウトソーシングマネジメント、またAI等の高度な技術の利活用による、新しい顧客価値の創造に寄与する革新的な取り組みを対象とし、真に経営貢

献できるカスタマーサポートのあり方について研究を進めます。

(企画委員長: 澁谷 尚樹 株式会社東京海上日動コミュニケーションズ 代表取締役社長)

## 11-2. 第27回カスタマーサポートシンポジウム(2024年9月12日・13日)

「顧客価値創造を実現するカスタマーサポートを目指して」を統一テーマに、国民生活のサービス向上に資するための研究成果の発表やわが国を代表するカスタマーサポートやコンタクトセンターの先進ユーザ事例・課題解決のためのツール・サービスの発表とカスタマーサポート表彰制度授賞式典からなるシンポジウムを2日間にわたり開催いたします。

(運営委員長: 浅野 紀美夫 プラス株式会社 代表取締役副社長)

## (12) 第13期サービス・ホスピタリティ研究会(2024年8月)

本研究会は、当世一流と言われるホテル・百貨店・テーマパークなどのエクセレントサービスから100年以上にわたって存続している長寿企業のおもてなしのころまで、今昔100年の物差しの中でサービス・ホスピタリティとは何かを研究します。

(企画委員長: 原 尚子 株式会社ANA総合研究所 専務取締役)

## 3. その他活動

---

小会が研究会などを通じて蓄積したノウハウなどを基に、講師やコンサルタント派遣によるBPM領域の支援や人材育成プログラムならびにコンタクトセンター変革支援などの活動を推進いたします。

以上